

第3回 岐阜県議会議員 恩田よしゆき 県政報告会

— 草莽崛起 —

soumoukukki

草莽崛起とは明治維新の精神的指導者であります吉田松陰が唱えた民衆主体の改革で、志を持った人々が立ち上がる事で、大きな物事を成し遂げる事ができるという意味です。一人の政治家ができる改革も挑戦も限られた事です。しかし、一人一人の市民の皆様が共に挑戦して頂ければ必ずや山県市は変わります。

本当に多くの皆様にご出席頂き心から感謝を申し上げます。
今を生きる私たちの世代には果たしていかなければならない責任があります。

これからの山県市は人口の減少と共に間違いなく物質的な豊かさが減少していきます。予算の枠が縮小していく中で、これまでと同じ様に公共サービスを続けていけば、次の世代の方々には大きな負担を背負わせる事となります。だからこそ、

時には市民の皆様にも共に汗を流して頂く。
時には市民の皆様にも共に責任を果たして頂く。

市民の皆様にも負担をお願いし、責任を共有して頂く訴えを続けていけばいつか議席を失う時も来るのかも知れません。

しかし、自らの保身の為に自らの信念を曲げるわけにはまいりません。

目の前の課題に目を背けて次の世代に課題を先送りする政治を続けていくのか。それとも、次の世代に責任が持てる山県市を築いていくために、これからも挑戦をしていくべきなのか。

挑戦せずして未来が開けますか。

10年後20年後、山県市で生まれてくる子どもたちが山県市で生まれて良かったと思える郷土を市民の皆様と共に築いていきたい。将来、『今の山県市があるのは当時、厳しい時代の中でも改革を進めてくれたからだ』と次の世代の方々から言ってもらえる、改革の実りが実感できる挑戦を市民の皆様と続けていきます。



活動
報告書
No.15

挑戦せずして、
未来が開けますか。

We have potential

Potential
安心も自立も挑戦の先にある

岐阜県議会議員

Onda Yoshiyuki

恩田よしゆき

岐阜県議会議員 恩田よしゆき事務所
〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬846-1
TEL0581-32-9597 FAX0581-32-9598

HP 恩田よしゆき 検索    

岐阜県議会議員 恩田よしゆき後援会 討議資料 No.15

平成30年 第1回 岐阜県議会定例会

一般質問

铸造



研磨



熟練技能の継承に向けた 取組について

岐阜県のものづくりや製造業をこれまで支えてこられた高い技術力を有する熟練技能者や職人の確保や育成、技術の継承について提案をさせていただきました。

有効求人倍率の高止まりが続き慢性的な人手不足は、ものづくりや製造業でも大きな課題であります。先進的な機器の導入により生産性の向上を進めていく事は必要ですが、これまで地域のものづくりを支えてきた、熟練された経験や知恵、感性を持ち合わせた熟練技能者の手による『最後の仕上げ』は欠かす事はできません。

現在、熟練技能者の高齢化や引退が進み技能者不足が想定される事から技能継承や技能者の確保・育成は喫緊の課題でもあります。又、技能者の育成には一定の期間も必要となる事から早急に取組を進めていく必要があるため熟練技能の継承に向けた取組について提案をさせていただきました。

(1) 企業の技能者確保及び育成に対する支援について

質問

県内企業の多くは中小企業のため、自力での技能者の確保や育成が課題であります。熟練技能を次世代に引き継いでいくためには、技能者の確保や育成に向けた県の支援が必要と考えます。今後の県の取組についてお尋ねを致します。

答弁

商工労働部長

ものづくりが盛んな本県において、これを支える熟練技能の継承は大変重要であり、そのためには、技能者の確保と育成が喫緊の課題と考えております。

そのため、高校生や大学生を対象として『オール岐阜・企業フェス』を開催し、県内ものづくり企業等の魅力を伝える事で、学生の県内就職を促すと共に、『国際たくみアカデミー』などで在職者向けの職業訓練を行い、技能者の育成、技能の向上を図っていきます。

又、平成30年度からは『中小企業総合人材確保センター』に新たに『シニア人材専門窓口』を設けて優れた技能と豊富な経験を持つシニア人材の県内企業のマッチングを推進していきます。

併せて、熟練技能者を企業に派遣して技能指導を行う国の『ものづくりマイスター制度』の活用を促すなど、さまざまな取組みにより、県内ものづくり企業の技能の継承を支援していきます。

(2) 技能者を尊重し志す風土づくりについて

質問

熟練技能を次世代に引き継ぐには、技能者の社会的評価を高めて技能者を志す若者を増やす事が必要です。職人や熟練技能の魅力をより多くの若者に知って頂き、技能者を尊重し志す風土づくりについての取組についてお尋ねを致します。

答弁

商工労働部長

技能者の社会的評価を高め、若者が志す風土を築くには、技能者の優れた功績を称えと共に、その卓越した技能を、若者をはじめ広く県民に伝え、知って頂く事が重要だと考えます。

このため県では、熟練の技をもつ技能者を『卓越技能者』として毎年表彰するほか、県民の皆様に様々な職種の技能を披露し、その魅力を感じて頂く『技能フェスティバル』の開催を支援していきます。

又、国際たくみアカデミーにおいて、県内の工業高校生などが県を代表する熟練技能者の技に触れる体験実習の実施や、中・高生が実際の製造現場をめぐる『しごと見学会』の開催など、若者が匠の技やものづくりの魅力に触れる機会を提供していきます。

平成30年度からは小・中学生を対象に、ものづくりの仕事を体験する親子教室を開催するなど、より早い段階からものづくりに触れる機会を増やし、技能者を志す若者のすそ野を拡げてまいります。